

SBIインド & ベトナム株ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第17期(決算日:2015年12月4日)

作成対象期間(2015年6月5日～2015年12月4日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIインド&ベトナム株ファンド」は、2015年12月4日に第17期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第17期末(2015年12月4日)

基準価額	8,584円
純資産総額	9,203百万円
第17期	
騰落率	△2.7%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間: 営業日の 9:00～17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2015年6月5日～2015年12月4日)



期 首:8,824 円
 期 末:8,584 円(既払分配金(税込み):0 円)
 騰 落 率:△ 2.7%(分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年6月4日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、インド株式市場や通貨インドルピーの下落などを受けて、下落しました。当ファンドの基準価額は、インド市場の上昇やインドルピーが対円で上昇したことなどにより、8月11日に当期の最高値である9,631円を付けました。しかし、8月半ば以降は、中国の人民元切り下げを発端とした世界同時株安の影響を受けて、インド市場やベトナム市場が大幅下落し、為替に関してもリスク回避の円買いにより円高に振れたことから、9月8日には当期の最安値である8,013円まで下落しました。その後は、インド準備銀行による予想外の利下げなどによりインド市場やベトナム市場が反発し、為替に関してもやや円安が進行したことから、期末にかけて緩やかに上昇に転じました。当期末の基準価額は8,584円となりました。当期の騰落率は△2.7%の下落となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2015年6月5日～2015年12月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 95 (58) (33) (4)	% 1.080 (0.659) (0.378) (0.043)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	9 (9)	0.101 (0.101)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.038 (0.038)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	9 (7) (1) (0)	0.099 (0.084) (0.011) (0.004)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他費用は、インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等
合 計	116	1.318	
期中の平均基準価額は8,774円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

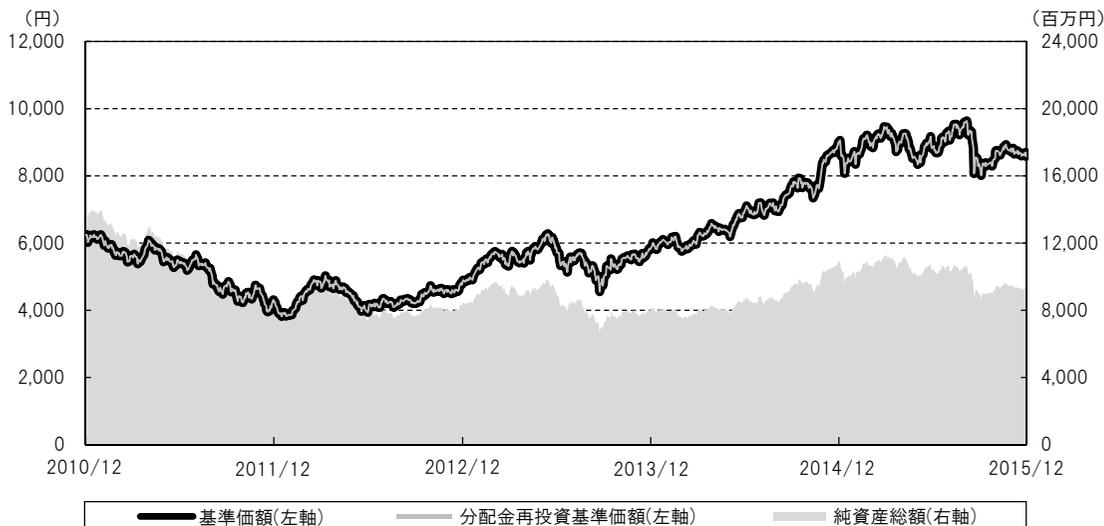
(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

最近5年間の基準価額等の推移

(2010年12月6日～2015年12月4日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2010年12月6日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年12月6日 決算日	2011年12月5日 決算日	2012年12月4日 決算日	2013年12月4日 決算日	2014年12月4日 決算日	2015年12月4日 決算日
基準価額 (円)	6,245	4,308	4,758	5,823	8,929	8,584
期間分配金合計(税込み) (円)	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	4.5	△ 31.0	10.4	22.4	53.3	△ 3.9
SENSEX 指数騰落率 (%)	12.0	△ 30.1	11.6	18.8	60.2	△ 13.7
VN 指数騰落率 (%)	△ 15.9	△ 28.9	4.1	69.5	28.4	△ 1.9
純資産総額 (百万円)	14,099	8,478	8,257	8,005	10,817	9,203

(注1) 当ファンドは、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として、インドでは SENSEX 指数^{*}、ベトナムでは VN 指数^{*}を記載しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

※各指数は円建て

●代表的な指数に関して

・SENSEX 指数は、インドのムンバイ証券取引所に上場する銘柄のうち、流動性・取引規模・業種等を代表する 30 銘柄で構成された時価総額加重平均指数のことで、インド株式市場の代表的な株価指数です。

・VN 指数は、ベトナムの最大都市ホーチミンにあるホーチミン証券取引所に上場の全銘柄から構成される時価総額加重平均指数のことで、ベトナム株式市場の代表的な株価指数です。

投資環境

(2015年6月5日～2015年12月4日)

○インド株式市場

(6月)

・月初にインド準備銀行が追加利下げを実施しましたが、市場予想通りだったことから、株式相場への影響は限定的となり、小幅に反落する展開となりました。

(7月)

・世界景気の先行き不透明感が懸念される中、インド市場は相対的に底堅く推移し、月を通じてみれば小幅高となりました。

(8月)

・中国の人民元切り下げを発端とした世界同時株安により、インド市場も大幅反落となりました。

(9月)

・上旬はインド準備銀行の利下げを好感して過去最高値を更新したものの、高値警戒感や原油相場の乱高下を受けて、月末にかけて下落基調が継続しました。

(10月)

・世界経済の先行きへの懸念や中国経済の減速懸念により、上値の重い展開となり、月を通じてみれば小幅続落となりました。

(11月)

・商品市況の悪化を受けて新興国市場全般が軟調に推移する中、インド市場も小幅に反落する展開となりました。

○ベトナム株式市場

(6月)

・外国人投資家の買い越し基調が継続したことから、概ね上昇基調で推移しました。

(7月)

・上場株式の外国人出資比率の上限を緩和するとの発表が好感され、大幅続伸となりました。

(8月)

・中国の人民元切り下げを発端とした世界同時株安に加えて、通貨ベトナムドンの切り下げにより外国人投資家が売り越しに転じ、月末にかけて下落が加速しました。

(9月)

・外国人投資家の売り越し基調が継続したことから、大型株を中心に軟調に推移となり、月を通じて概ね下落する展開となりました。

(10月)

・環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の大筋合意や中国の追加利下げなどが好感され、上昇基調に転じ、大幅反発となりました。

(11月)

・外国人投資家が売り越しに転じたことや原油相場の下落を受けて月末にかけて大幅安となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年6月5日～2015年12月4日)

当ファンドは、2007年7月25日に設定され、2015年12月4日に第17期決算を迎えました。

当ファンドは、「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行っております。

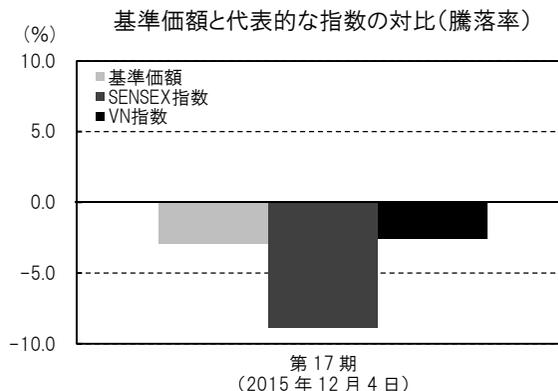
当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年6月5日～2015年12月4日)

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用しておりません。

また、適当な参考指数もないことから当ファンドの基準価額と、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数としてインドでは SENSEX 指数[※]、ベトナムでは VN 指数[※]を記載しております。

※各指数は円建て



分配金

(2015年6月5日～2015年12月4日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 17 期
	2015年 6月5日～ 2015年12月4日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	421

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

○インド株

11月上旬のビハール州議会選挙での与党敗北や、間接税などの税制改革に遅れが生じるとの懸念から、インド株式市場は売りが優勢となり、直近では調整局面に入っています。しかしながら、足元のインド経済は、鉱工業生産の堅調な伸びが続くなど緩やかな景気回復基調が継続しています。また、原油安の進行によるインフレ低下見通しから、インド準備銀行は景気刺激のための追加利下げを実施する余地が広がっており、中長期的に見ればインドの経済成長は緩やかながらも加速していく公算が高まっています。インド株式市場に関しては、米国の利上げに伴う資本流出など様々な海外要因の影響を受けながらも、年初来で見れば外国人投資家は買い越しとなっており、中長期的には上昇していく展開が見込まれます。

以上の見通しにより、インド株については、各マザーファンドの受益証券の組み入れを通じ、ポートフォリオの80%前後の比率を目標として運用する方針です。

○ベトナム株

ベトナム経済は、製造業を中心とした輸出の増加により、6%台の堅調な経済成長が続いており、今後に関しても、外国からベトナムへの直接投資や民間消費が伸びることにより、内需が堅調を維持する見通しとなっています。ベトナム株式市場に関しては、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)や上場株式における外国人投資家の保有比率拡大による期待は既に織り込み済みとなったことから、当面は一進一退の相場展開になると見込まれます。米国の利上げ後の需給動向、原油安、中国経済の動向などが不安材料となっている一方、中期的な成長期待も高く、下落局面では外国人投資家の買いが期待できることから、相場の下値は限定的と考えられます。

以上の見通しにより、ベトナム株については、ポートフォリオの17.5%程度の比率を維持して運用する方針です。

お知らせ

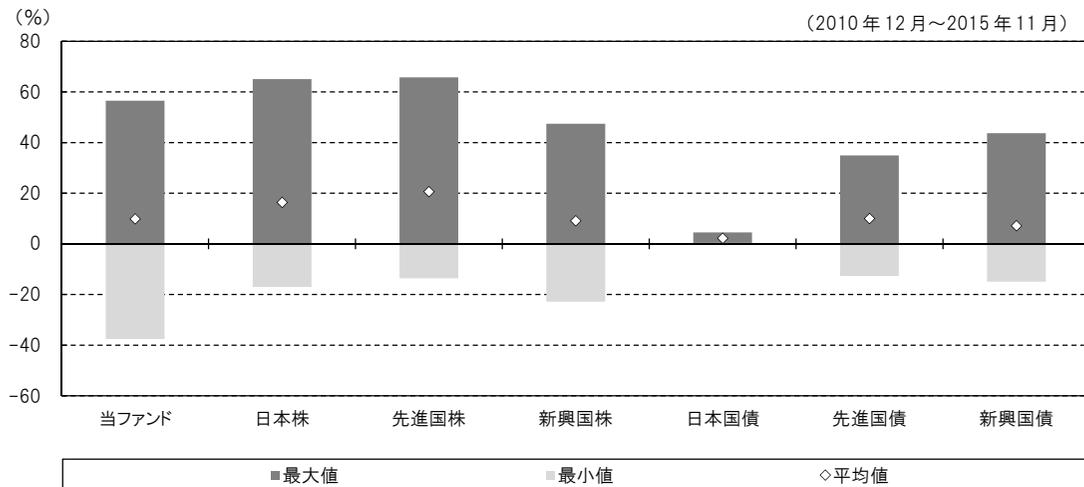
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限(クローズド期間はありません)	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」受益証券(以下「マザーファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
	ロイド・ジョージ インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	ステイト・バンク・オブ・ インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M ベトナム株・ マザーファンド	ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)ならびに当該株式の値動きに連動する債券、新株引受権証券等を主要投資対象とします。
当ファンドの 運用方法	各マザーファンドを通じて主にインド及びベトナムの株式に投資を行います。マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。ベトナム株への実質的な投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産において、原則為替ヘッジは行いません。	
分配方針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、委託者の判断により収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.5	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△37.5	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△15.0
平均値	9.9	16.4	20.6	9.1	2.3	10.0	7.2

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2010年12月から2015年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCI KOKUSAI(コクサイ)・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株:MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円ベース)

日本国債:NOMURA-BPI 国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債:JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数についての詳細は、最終ページをご参照ください。

* 代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、SBIアセットマネジメントはその内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年12月4日現在)

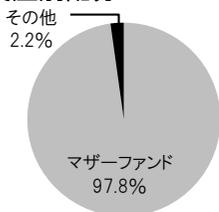
○組入上位ファンド

銘柄名	第17期末
	%
ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド	33.4
ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド	35.4
SBIAM インド株・マザーファンド	9.5
SBIAM ベトナム株・マザーファンド	19.5
組入銘柄数	4銘柄

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

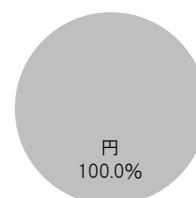
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第17期末
	2015年12月4日
純資産総額	9,203,146,260 円
受益権総口数	10,721,235,278 口
1万口当たり基準価額	8,584 円

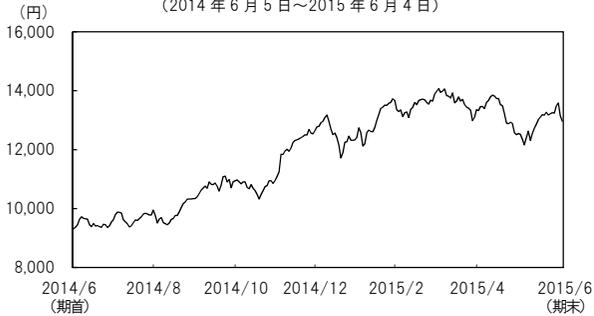
(注) 当ファンドの期首元本額は11,775,023,467円、期中追加設定元本額は631,842,837円、期中一部解約元本額は1,685,631,026円です。

組入上位ファンドの概要

ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2014年6月5日～2015年6月4日)



【1万口当たりの費用明細】

(2014年6月5日～2015年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	21 (21)	0.172 (0.172)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	10 (10)	0.081 (0.081)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	16 (16) (0)	0.131 (0.131) (0.000)
合 計	47	0.384

期中の平均基準価額は、11,950円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2015年6月4日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
ITC	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	5.4%
HDFC銀行	銀行	インドルピー	インド	5.3%
ICICI銀行	銀行	インドルピー	インド	4.9%
HDFC	銀行	インドルピー	インド	4.8%
イェス銀行	銀行	インドルピー	インド	4.0%
ユナイテッド・スピリッツ	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	3.9%
ウルトラテック・セメント	素材	インドルピー	インド	3.7%
マヒンドラ・マヒンドラ・ファイナンシャル・サービス	各種金融	インドルピー	インド	3.5%
ピディライト・インダストリーズ	素材	インドルピー	インド	3.5%
エマミ	家庭用品・パーソナル用品	インドルピー	インド	3.4%
組入銘柄数	34 銘柄			

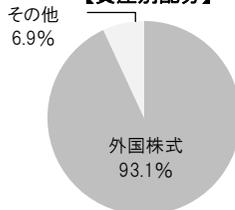
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

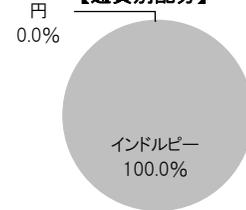
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2015 年 6 月 4 日現在のものです。

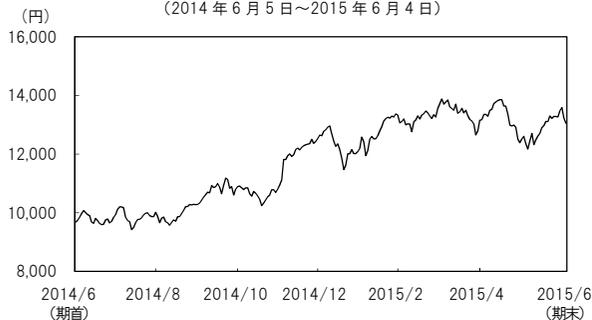
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2014年6月5日～2015年6月4日)



【1万口当たりの費用明細】

(2014年6月5日～2015年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 35 (35)	% 0.292 (0.292)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	29 (29)	0.244 (0.244)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	282 (31) (251)	2.376 (0.259) (2.117)
合 計	346	2.912

期中の平均基準価額は、11,857円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2015年6月4日現在)

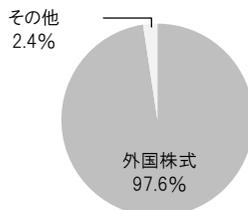
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
インフォシス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	9.4%
タタ・コンサルタンシー・サービシズ	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	7.1
リアリانس・インダストリーズ	エネルギー	インドルピー	インド	6.2
HDFC	銀行	インドルピー	インド	5.3
ブリタニア・インダストリーズ	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	4.1
サン・ファーマシューティカル	医薬品他	インドルピー	インド	3.8
ICICI銀行	銀行	インドルピー	インド	2.8
インドステイト銀行	銀行	インドルピー	インド	2.8
ラーセン&トププロ	資本財	インドルピー	インド	2.8
HCLテクノロジーズ	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	2.7
組入銘柄数	52 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

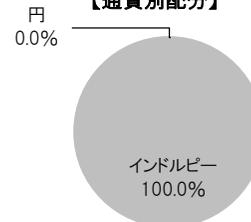
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2015 年 6 月 4 日現在のものです。

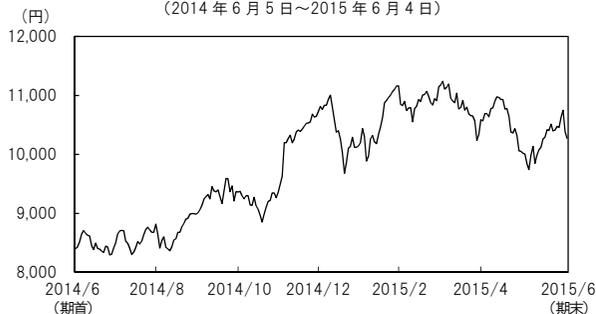
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

SBIAM インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2014年6月5日～2015年6月4日)



【1万円当たりの費用明細】

(2014年6月5日～2015年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	7 (7)	% (0.068)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	3 (3)	0.034 (0.034)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	20 (20)	0.200 (0.200)
合 計	30	0.302

期中の平均基準価額は、9,933円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2015年6月4日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
HDFC銀行	銀行	インドルピー	インド	8.4%
インフォシス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	8.4
HDFC	銀行	インドルピー	インド	8.0
ICICI銀行	銀行	インドルピー	インド	7.2
ITC	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	7.2
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インドルピー	インド	6.3
ラーセン&トップロ	資本財	インドルピー	インド	5.9
タタ・コンサルタンシー・サービシズ	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	5.7
アクシス銀行	銀行	インドルピー	インド	4.1
サン・ファーマシューティカル	医薬品他	インドルピー	インド	4.0
組入銘柄数	30 銘柄			

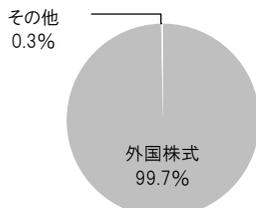
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC 銀行は HDFC のグループ企業です。

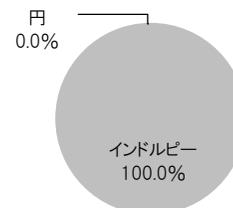
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2015 年 6 月 4 日現在のものです。

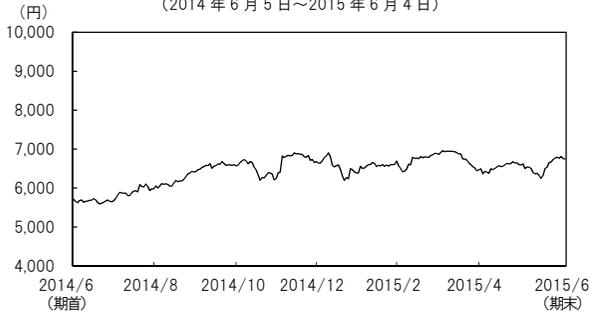
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

SBIAM ベトナム株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2014年6月5日～2015年6月4日)



【1万円当たりの費用明細】

(2014年6月5日～2015年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	6 (6)	0.089 (0.089)
(b) その他費用 (保管費用)	7 (7)	0.110 (0.110)
合計	13	0.199

期中の平均基準価額は、6,463円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2015年6月4日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
ベトナム乳業	食品・飲料・タバコ	米ドル	ベトナム	29.3%
FPTコーポレーション	ソフトウェア・サービス	米ドル	ベトナム	8.0
ベトロベトナム・ドリリング	エネルギー	米ドル	ベトナム	5.5
マサングループ	食品・飲料・タバコ	ベトナムドン	ベトナム	5.5
ホアファットグループ	素材	米ドル	ベトナム	5.3
ピンググループ	不動産	ベトナムドン	ベトナム	5.3
ハウザン製菓	医薬品他	米ドル	ベトナム	4.0
ベトコムバンク	銀行	米ドル/ベトナムドン	ベトナム	3.8
サイゴン証券	各種金融	米ドル	ベトナム	3.4
ダナン・ゴム	自動車・自動車部品	米ドル	ベトナム	3.2
組入銘柄数	21銘柄			

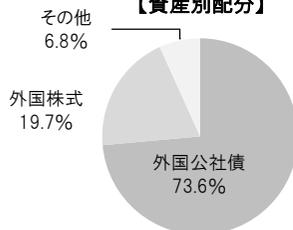
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※ ベトコムバンクは、株価連動債と株式で保有しております。

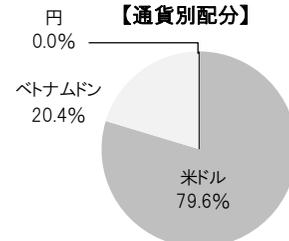
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2015年6月4日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

※1 ベトナムの株式と、ルクセンブルグで発行されているベトナムの株価連動債に投資しております。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数の著作権等＞

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円ベース)は、MSCI inc.が開発した、世界の新興国の株式対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P.Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLC に帰属します。